

4 高速鉄道事業

(1) 事業の概況

仙台市地下鉄は、南北線と平成 27 年 12 月 6 日に開業した東西線の両線とで本市を東西南北に貫く十文字の骨格交通軸を形成し、仙台都市圏の基幹交通機関として重要な役割を担っている。平成 27 年度においては年間約 6,791 万人（1 日あたり約 18 万 6 千人）のお客様に利用され、安全運行の確保とお客様の視点に立ったサービスの向上、経営の効率化に継続して努めている。

ハード面の整備としては、安全性向上のための取り組みとして信号現場機器の更新等を進めているほか、バリアフリー化の一環として、駅トイレ入口の段差解消に向けて改修設計を行うとともに、昇降機の増設及び更新工事や、階段の段差明瞭化、非常用警報装置の設置、誘導・案内設備の整備を進めている。また、省エネルギー化への取り組みとして、駅舎電灯設備の省電力型への更新を進めている。

ソフト面においては、職員に対して「心のバリアフリー化推進事業」として接客研修や介助研修等を実施し、お客様サービスの向上に努めているとともに、小学生を対象とした「交通バリアフリー教室」やお客様へ乗車マナー向上を呼びかける「快適乗車マナーアップキャンペーン」などの啓発活動の強化により、公共交通機関を利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。

利便性向上への取り組みとしては、ICカード乗車券 **icsca**（イクスカ）について、東西線では開業時からサービスを開始するとともに、それに合わせて南北線も含めた全ての地下鉄駅でのバスとの乗り継ぎに対して運賃支払いに利用できるポイントを付与するなど新たなサービスの提供を始め、平成 28 年 3 月 26 日には、Suica との相互利用により全国 10 社局が発行する IC カードでの乗降を可能とした。今年度は、平成 28 年 10 月に予定されている敬老乗車証の IC カード化への対応の準備を進めていく。

また、新たな運賃制度として、東西線開業に合わせて、仙台駅から東西南北 3 駅までのエリア内で乗降する場合の運賃を 200 円とする「地下鉄均一運賃制度」を導入したほか、「学都仙台 市バス・地下鉄フリーパス」では券種を拡充した。

このほか、郊外の大型商業施設等との提携により実施していた「パークアンドライド事業」について、これまでの泉中央地区と長町南地区に加えて、東西線開業に合わせて八木山動物公園駅と荒井駅の駐車場を利用して新たに開始するなど、環境にやさしい地下鉄の利用促進に積極的に取り組んでいる。



また、平成 27 年度から南北線 8 駅、東西線 9 駅において駅業務の委託を開始するなど、事業運営の一層の効率化に取り組んでいる。